

24年センター試験確定志願者数は、 前年より3,447人(0.6%)減の55万5,537人！

現役・既卒者とも減少。現役志願率41.5%は、初の前年割れ。

旺文社 教育情報センター 23年12月

大学入試センターはこの程、24年1月14・15日に実施される24年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は55万5,537人で、23年より3,447人(0.6%)減り、4年ぶりの前年割れとなった。現役生、既卒者、及び男子は減少したが、女子はわずかに増加した。

都道府県別では、74.5%に当たる35道府県で減少し、増加したのは島根・沖縄・静岡・愛知など12都県に留まる。東日本大震災や原発事故で被災した岩手・宮城・福島の東北3県の動向が注目されていたが、福島で3.5%減少、岩手で若干減少したものの、宮城はやや増加した。ただ、被災受験生の他県等への転出などもあり、前年との比較には考慮する必要がある。

現役志願率は23年より0.1ポイント下回る41.5%で、初の前年割れとなった。

●志願者数 555,537人(558,984人；3,447人減、0.6%減)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 439,713人(442,421人；2,708人減、0.6%減)

○高校等卒業生(既卒者) 109,748人(110,211人；463人減、0.4%減)

○「高認」合格者・その他 6,076人(6,352人；276人減、4.3%減)

○現役志願率 41.5%(41.6%；0.1ポイント低下)

○男女別

① 男子 316,957人<57.1%>(320,716人<57.4%>)

② 女子 238,580人<42.9%>(238,268人<42.6%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都県

島根(4.3%増)／沖縄(3.9%増)／静岡(2.9%増)／愛知(2.5%増)／青森(2.2%増)／東京(2.1%増)／新潟(2.1%増)／奈良(1.8%増)／神奈川(1.8%増)等、12都県

② 志願者数が減少した主な道府県

徳島(6.0%減)／高知(4.5%減)／石川(4.2%減)／栃木(4.1%減)／岐阜(3.9%減)／熊本(3.8%減)／香川(3.7%減)／鹿児島(3.6%減)／福島(3.5%減)／愛媛(3.4%減)等、35道府県

③ 現役志願率の高い主な都県

富山(52.5%)／愛知(51.3%)／東京(51.3%)／広島(51.3%)／山梨(48.1%)／島根(47.8%)／石川(46.5%)／群馬(45.8%)／徳島(44.9%)／福岡(44.8%)等

○成績開示希望別

① 開示希望者 419,893人<75.6%>／② 開示を希望しない者 135,644人<24.4%>

注1. 都道府県別を除く()内は、23年データ及び23年対比の減少、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

【特記】

① 志願者数

24年の18歳人口・高卒者数はともに1%弱の減少が見込まれ、高卒者数は23年より約1万人減の105万4,000人が予測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。また、大学・短大への現役志願率も23年より低下し、61%程度になることが見込まれる(旺文社推定)。そうした中、センター試験志願者数は、4年ぶりに前年より3,447人(前年比0.6%)少ない55万5,537人となった。

② 志願者が減少した主な要因

- 上述のように、来春の高卒者数は23年より減少が見込まれていることに加え、現役生の大学志願率が近年の上昇傾向から、23年は低下に転じたと推測される(19年51.8%→20年53.5%→21年54.9%→22年55.7%→23年55.5%<震災による未集計の影響などから旺文社推定>)。

そして、この大学志願率の低下傾向は、24年にも引き継がれているとみられる。

- 平成2(1990)年のセンター試験開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率が、初めて前年割れとなった(平成2年15.0%→23年41.6%→24年41.5%)。
- 23年は公立4大学のセンター試験を利用する分離分割方式への参入がみられたが、24年は公立大の新規参入はない。また、24年は私立大のセンター試験参加増(9大学21学部増の513大学1,461学部。23年3月末現在)と短大の参加増(2短大増の165短大。同)はあるものの、参加定員数は私立大で377人、短大で20人のそれぞれ増加に留まっている。

③ 現役生、既卒者の志願者数

- 現役生は20年に減少したが、21～23年と3年連続で増加し、23年センター試験の現役志願率も過去最高の41.6%に達していた。

しかし、24年は高卒者数の減少、大学志願率の低下などが見込まれ、現役生は4年ぶりに前年より2,708人(0.6%)減の43万9,713人だった。

- 一方、既卒者は16年以降、21年まで6年連続減少していたが、22年に7年ぶりの増加に転じ、23年も22年より3.3%の大幅増で2年連続の増加であった。

24年の既卒者は、3年ぶりに前年より463人(0.4%)減の10万9,748人だった。

現役・既卒者ともに減少した背景には、長引く不況や雇用不安などの経済環境の低迷に加え、東日本大震災や原発事故などの影響も少なからず働いているとみられる。

④ 高校の学科別でみた出願状況

志願者のほとんどを占める普通科(志願者数50万6,258人、構成比率92.1%)のほか、商業科(同2,666人、同0.5%)、工業科(同2,266人、同0.4%)などで志願者減となった一方で、理数科(同1万1,669人、同2.1%)と総合学科(同1万601人、同1.9%)がともに3%～4%近く志願者を増やしている。

普通科だけでなく、理数科や総合学科など、高校教育の多様化による志願者層の広がりがうかがえる。

⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

* 志願者数：東京が6万6,643人で突出しており、これに愛知(3万7,226人)、神奈川(3万3,150人)、大阪(2万9,405人)、埼玉(2万8,812人)、兵庫(2万4,029人)、千葉(2万3,642人)、福岡(2万3,338人)と、23年と同様の顔ぶれが続く。

志願者数が前年比0.6%減少したのを反映し、全国47都道府県のうち、徳島・高知・石川・栃木・岐阜・熊本・香川・鹿児島・福島・愛媛など、35道府県(全体の74.5%)で減少した。一方、増加したのは島根・沖縄・静岡・愛知・青森・東京・新潟・奈良など12都県(同25.5%)に留まる。

* 現役志願率：富山が52.5%で、9年連続の首位をキープ。これに愛知・東京・広島とともに51.3%で続き、以下、山梨(48.1%)、島根(47.8%)、石川(46.5%)、群馬(45.8%)と、45%以上の高率が続いている。

⑥ 「2教科以下」志願者の大幅増

24年は、私立大センター試験利用の専願組とみられる「2教科以下」志願者(1万5,994人)が前年より2,349人(17.2%)の大幅増となったことが特筆される(23年は2.0%増)。

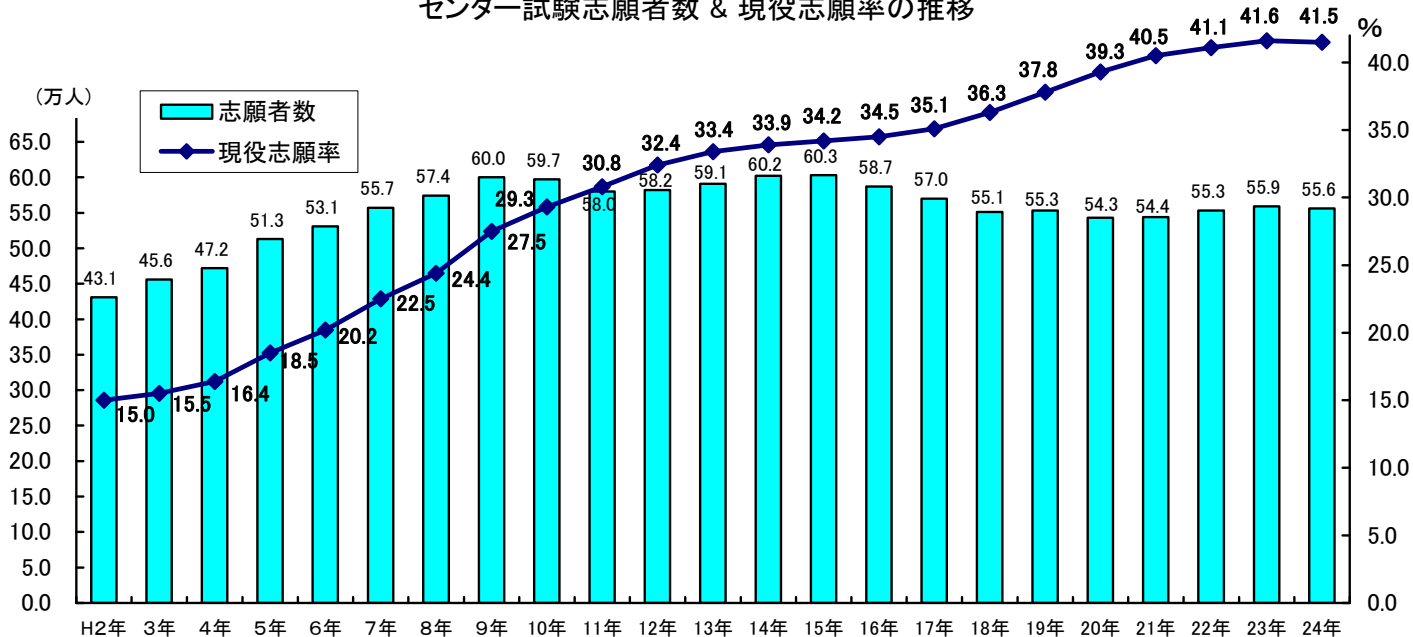
これは、地歴や公民、理科における2科目受験の“高得点利用”を視野に入れた出願がうかがえる。

⑦ 「追試験」の実施

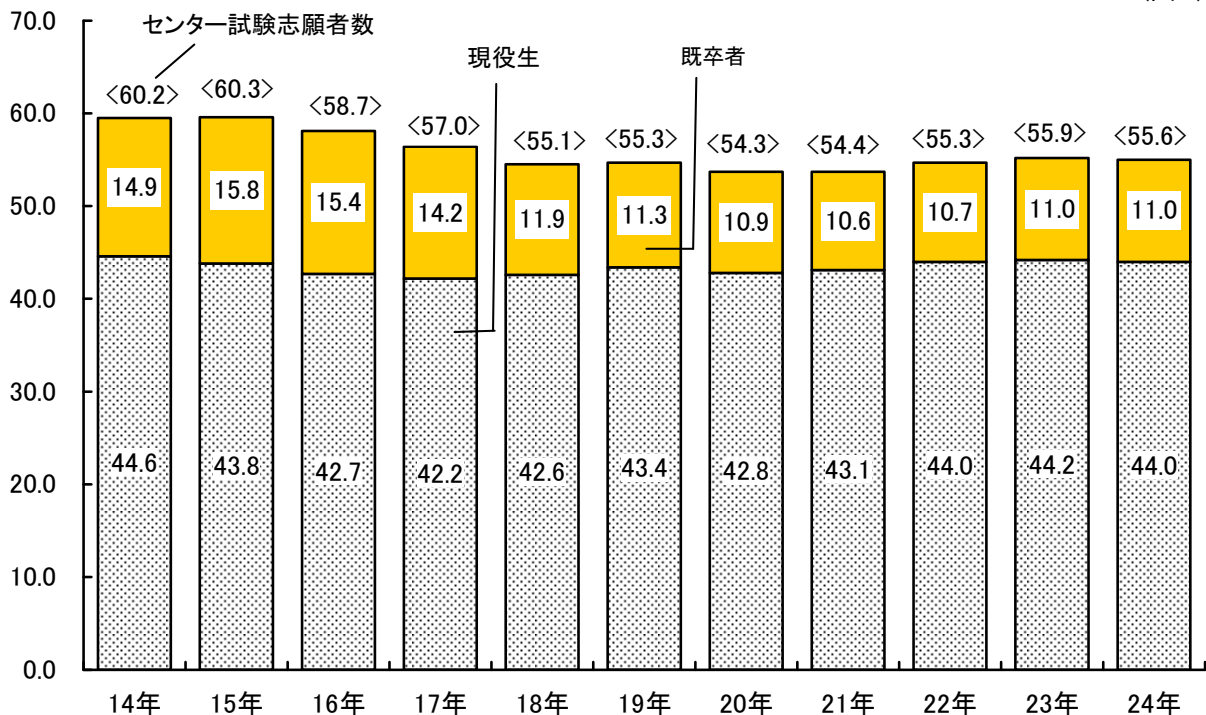
「本試験」の1週間後、1月21日・22日に東日本地区(東京芸術大)と西日本地区(大阪教育大)の2会場で実施される。

(図1)

センター試験志願者数 & 現役志願率の推移



●センター試験志願者数;現役生 & 既卒者の推移 (図2)

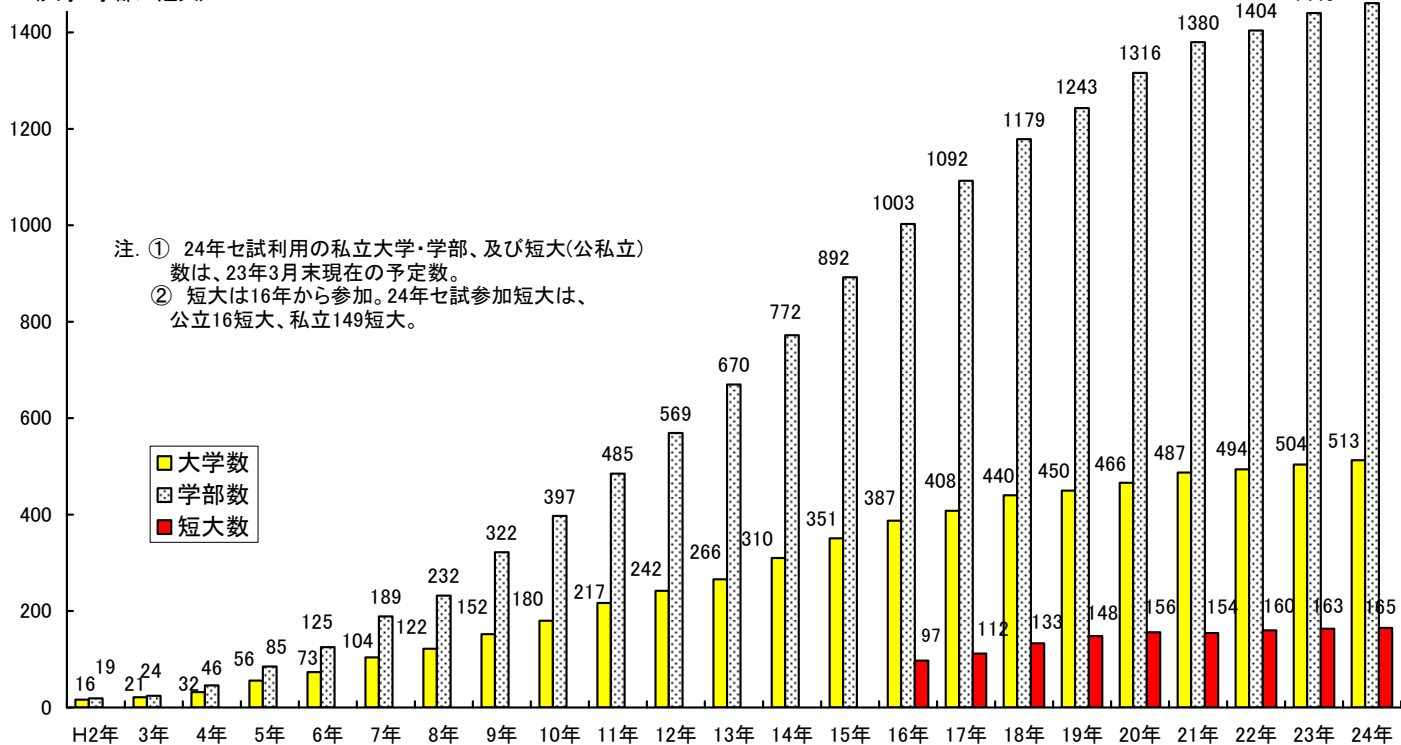


注) 既卒者には、「高認」合格者等を含まない。セ試志願者数には、「高認」合格者等含む。

(図3)

(大学・学部/短大)

●センター試験を利用する私立大&短大;大学・学部、短大数の推移



注. ① 24年セ試利用の私立大学・学部、及び短大(公私立)数は、23年3月末現在の予定数。
 ② 短大は16年から参加。24年セ試参加短大は、公立16短大、私立149短大。

(表 1)

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	24年	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	2年
1 北海道	32.8%	32.9%	32.1%	31.3%	29.6%	27.6%	26.4%	25.5%	13.4%
2 青森	34.0%	32.9%	32.8%	32.1%	31.9%	30.5%	28.9%	27.5%	14.5%
3 岩手	40.3%	40.5%	39.3%	39.7%	37.3%	36.9%	36.2%	33.0%	15.8%
4 宮城	34.2%	33.9%	33.7%	32.6%	31.0%	29.7%	28.8%	27.7%	11.7%
5 秋田	40.3%	39.9%	39.4%	37.5%	35.8%	34.2%	32.8%	29.7%	13.9%
6 山形	39.8%	38.7%	38.7%	38.3%	36.9%	35.5%	34.2%	31.6%	16.5%
7 福島	30.4%	32.2%	32.2%	32.0%	29.7%	28.6%	27.0%	27.2%	12.7%
8 茨城	42.8%	41.9%	43.2%	42.7%	40.1%	37.6%	35.9%	35.2%	11.9%
9 栃木	43.3%	44.8%	44.1%	42.6%	41.4%	39.6%	37.0%	35.9%	13.1%
10 群馬	45.8%	44.6%	44.4%	44.5%	43.6%	41.7%	39.3%	38.0%	13.9%
11 埼玉	41.9%	42.6%	42.2%	41.2%	39.9%	38.5%	37.1%	34.3%	9.4%
12 千葉	39.0%	39.5%	39.7%	39.0%	37.9%	36.0%	34.2%	34.4%	9.7%
13 東京	51.3%	50.8%	48.8%	48.3%	46.9%	44.1%	42.6%	40.6%	11.8%
14 神奈川	41.6%	41.5%	40.9%	40.2%	39.5%	37.7%	35.9%	34.8%	10.4%
15 新潟	43.2%	42.5%	41.4%	42.2%	39.2%	38.9%	35.5%	33.3%	12.5%
16 富山	52.5%	52.1%	50.8%	50.8%	50.3%	49.5%	47.4%	46.0%	27.7%
17 石川	46.5%	48.0%	48.5%	47.5%	46.1%	45.0%	43.6%	41.0%	19.6%
18 福井	44.0%	44.4%	45.4%	43.2%	44.7%	43.4%	42.1%	39.7%	22.7%
19 山梨	48.1%	48.4%	48.2%	48.6%	45.6%	44.1%	42.4%	40.8%	13.8%
20 長野	44.6%	44.0%	42.9%	42.1%	41.0%	39.0%	37.4%	34.0%	12.8%
21 岐阜	40.3%	40.9%	40.7%	39.5%	40.1%	37.8%	35.8%	35.4%	18.3%
22 静岡	44.6%	43.9%	43.8%	42.4%	41.4%	41.0%	39.2%	37.8%	13.8%
23 愛知	51.3%	51.1%	50.5%	49.8%	48.6%	47.5%	45.8%	45.1%	21.2%
24 三重	39.8%	41.0%	40.6%	39.1%	38.0%	37.7%	37.0%	36.4%	14.6%
25 滋賀	39.8%	39.7%	40.4%	41.0%	39.8%	39.2%	38.1%	36.2%	12.8%
26 京都	35.3%	36.0%	36.7%	36.4%	35.5%	35.3%	33.8%	32.5%	12.8%
27 大阪	31.3%	31.7%	31.5%	31.8%	31.2%	30.5%	29.5%	28.4%	11.9%
28 兵庫	43.2%	43.4%	43.0%	42.8%	42.0%	40.5%	39.4%	37.9%	16.4%
29 奈良	43.0%	42.2%	43.9%	43.8%	42.0%	41.0%	39.9%	38.8%	15.5%
30 和歌山	33.8%	34.4%	33.6%	34.1%	33.4%	32.6%	33.3%	30.6%	11.8%
31 鳥取	43.6%	43.5%	42.9%	40.8%	39.3%	38.5%	36.0%	34.6%	21.2%
32 島根	47.8%	46.4%	47.7%	44.7%	44.0%	43.3%	43.2%	42.6%	22.9%
33 岡山	41.1%	40.2%	40.4%	39.8%	39.5%	38.6%	38.0%	37.5%	25.7%
34 広島	51.3%	52.0%	50.3%	49.9%	49.3%	47.9%	45.0%	44.8%	17.6%
35 山口	37.1%	37.4%	37.3%	35.8%	34.7%	34.5%	33.6%	31.8%	19.1%
36 徳島	44.9%	46.3%	44.9%	44.3%	42.5%	40.2%	38.2%	36.9%	22.1%
37 香川	40.2%	40.8%	41.7%	40.8%	40.8%	39.3%	38.5%	37.0%	20.9%
38 愛媛	42.6%	43.1%	43.5%	43.0%	40.7%	40.7%	40.2%	39.9%	22.5%
39 高知	37.0%	37.2%	35.7%	33.4%	34.4%	32.8%	32.1%	31.2%	14.4%
40 福岡	44.8%	45.9%	44.3%	43.5%	41.6%	39.6%	37.8%	37.0%	19.3%
41 佐賀	40.4%	40.3%	41.1%	41.2%	39.7%	38.8%	37.5%	37.0%	18.7%
42 長崎	37.9%	37.8%	38.1%	36.5%	35.1%	34.0%	33.4%	32.5%	24.3%
43 熊本	35.5%	35.9%	35.5%	34.0%	33.6%	31.4%	29.6%	28.4%	17.0%
44 大分	33.1%	33.7%	34.5%	34.8%	33.0%	31.3%	29.8%	30.2%	22.6%
45 宮崎	38.3%	38.3%	39.0%	38.8%	37.6%	36.4%	37.1%	35.5%	25.7%
46 鹿児島	36.8%	37.3%	36.7%	35.9%	35.7%	33.8%	32.6%	31.6%	22.3%
47 沖縄	27.0%	26.9%	24.6%	24.1%	24.5%	23.2%	22.5%	21.9%	14.9%
全国	41.5%	41.6%	41.1%	40.5%	39.3%	37.8%	36.3%	35.1%	15.0%

※ 大学入試センター発表資料・文部科学省『学校基本調査』(23・24年＝速報値／それ以外＝確定値)より算出。

※ 現役志願率＝高等学校等新規卒業者における、セ試志願者の割合。

※ 24年は卒業見込者(高等学校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年の在学者数計)。

※ 岩手・宮城・福島3県については、東日本大震災の影響で学校基本調査速報に反映されていないため、23年は22年学校基本調査報告書の高等学校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年の数値を、24年は同報告書の全日制2年・定時制3年、中等教育学校後期課程2年の数値を使用。